

まなびの森

校長通信 第13号 R2.11.20

廿日市市立吉和小・中学校

校長 森岡 勝司

TEL(0829)77-2010

教育目標「夢や目標をもち、果敢に挑戦し、自己実現する児童生徒の育成」

地域公開研究会を開催しました 地域に支えられ愛される学園です！

11月13日（金）には、令和2年度教育課程研究指定校としての中間発表の場として、廿日市市教育委員会の田村有樹子指導主事をお迎えし、地域公開研究会を開催しましたところ、平日にもかかわらず、多くの保護者や地域の皆様にご来校いただきありがとうございました。また、遠くは山口県周南市からもお越しいただき、重ねて感謝を申し上げます。

当日は、小学1年生は生活科「あきのおもちゃをつくらう」として、地域で集めた自然の材料を使っておもちゃを作りました。工夫しながら作った様子や遊び方について説明しました。2年生は生活科「もっとなかよしまちたんけん」として町探検で行った「中澤商店さん」でインタビューした内容を発表しました。いつもみんなが利用するお店について調べることで地域との交流を深め、どんな仕事があって、将来やってみみたい仕事を考える学習につなげています。小学校3～6年とやまびこ学級（4年）は、総合的な学習の時間で「吉和の未来を考える」学習を行いました。そこで、吉和地域の良さや課題を見つけるために「緑の豊かさを守ろう」をテーマに吉和の自然を調べ、「動植物と川の生き物」について2グループが発表しました。中学校1～2年は「『SDGs』吉和の未来を考



える」をテーマに、吉和の方々の「SDGs」の認知度や吉和のために取り組んでおられることをインタビューやアンケートで調査し、そこで明らかになった吉和の実態や課題から、吉和の未来のためにできることを考えたことを発表しました。中学校3年は、今年度の全体テーマである「SDGs」とは何か、世界や日本ではどのような取組が行われているのか、吉和小中学校で今からできることについて発表しました。

さらに、地域行事がコロナ禍で中止となり、児童生徒の表現の場がなかったことから、

「やまびこ太鼓」を披露させていただきました。今年は「鼓舞心こぶしん

響きょう」をテーマとして、聴かれている方々に勇気と希望を与えるような演奏をとの思いで頑張ってくれました。あたたかい拍手をいただき、子どもたちも達成感が味わえたようでした。本当にありがとうございました。研究会参加者の感想を一部掲載させていただきます。今後も、地域に支えられる学園から、地域に貢献できる学園をめざして、さらに頑張っていきたいです。



引き続き、吉和学園の教育にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

◎時代を先取りするようなSDGsに取り組まれ、その価値を理解し、身近な課題として取り組まれた発表に感動しました。児童生徒たちがSDGsを理解して、目を輝かせながら発表している姿は、明るい吉和の未来が期待できるように思いました。ますますの研究が深まることを期待しています。

◎自分たちで、新聞や学習したことをハキハキと発表する姿を見て、とても良かったです。コロナの影響で、なかなか子どもたちの頑張る姿が見れなかったのが、今日はとても嬉しく思いました。

◎吉和地域、事業所、自然と、SDGsの取組がとてもわかりやすくまとめられていました。発表の態度も良かったと思います。各委員会（児童生徒会）で取り組まれる、これからできることを応援していきたいです。風力発電についても、情報収集やまとめなど、期待しています。保護者も学んでいきたいです。